

## 第44回新英語教育研究会東海ブロック研究集会

### 講演 レシャード・カレッドさん

#### 「アフガニスタンの現状と国際平和 —今、私たちにできること—」

2001年9・11同時多発テロ後、アメリカはタリバン政権下のアフガニスタンに空爆を行いました。日本は2001年から2010まで自衛隊をインド洋に派遣し、アメリカ海軍艦船に対して給油活動を行い、アメリカの空爆を支援しました。タリバン政権が倒され、アフガニスタンは共和国になりましたが、果たして平和は実現したのでしょうか？アフガニスタンの歴史と現状、日本とアフガニスタンでの医療活動から見えてくる社会の問題点などについて、レシャードさんのお話をうかがい、平和な世界をつくるために私たちがやるべきこと、私たちにできることは何か考えてみましょう。

日 時：2015年1月11日 13:45～15:00（どなたでも参加できます）

場 所：かんぽの宿 焼津 講演参加費：500円

#### レシャード・カレッドさんのプロフィール

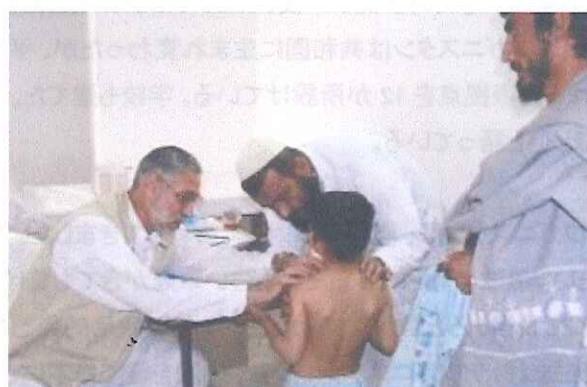


1950年、アフガニスタンのカンダハールに生まれる。1969年4月来日。千葉大学留学生部を経て、72年京都大学医学部に編入、76年9月卒業。79年12月、ソ連がアフガニスタンに軍事侵攻し、母国に帰ることができなくなる。82年島田市民病院呼吸器科医長。87年、日本に帰化。93年、静岡県島田市でレシャード医院を開設、院長。その後、介護老人保健施設アポロン、社会福祉法人「島田福祉の杜」設立 理事長 04年京都大学医学部臨床教授就任 08年島田市医師会長就任(12年任期満了退任)

2002年4月、アフガニスタン復興支援のためのNGO「カレーズの会」を設立、理事長。（カレーズとは、現地の言葉で「地下水脈」のこと。）「カレーズの会」はアフガニスタン南部のカンダハール市で診療所を運営している。今なお混乱が続く故郷へ、毎年、医療支援に出かけている。

診察するレシャードさんと現地の医師→

アフガニスタンの写真展示もあります



## 資料1

アフガニスタンは、乳児死亡率 出生 1000 あたり 103 人 5 歳未満児死亡率 出生 1000 あたり 149 人  
(世界銀行ミレニアム開発目標指標 2011 参照) 平均寿命は男女総合 48 歳という、生きていくのが厳しい国です。一方で、初等教育修了率が 34% と低いことも改善されなければなりません。

## 資料2

<日経メディカル 2014年7月18日 色平哲郎 より>

静岡県島田市に「地域の医療・介護」を支えながら、祖国アフガニスタンのために命がけの「国際医療」を開拓している医師がいる。レシャード・カレッド先生だ。

(中 略)

1979 年 12 月、ソ連がアフガニスタンに軍事侵攻して、すべてが変わった。  
「目の前が真っ白。家族とは音信不通で、やっと連絡がとれたとき、妹は難民キャンプでした。従兄弟は牢獄に入れられて命を落としました。何とかしたくて翌年、パキスタンの難民キャンプに向かった。リュックに抗生物質や注射を詰め込んで、元軍医からもらった古い診療鞄に聴診器を入れてね」(週刊金曜日 2012 年 5 月 25 日号、山岡淳一郎「脱混迷ニッポン」)

持参した薬は 3 日でなくなった。1986 年に日本国籍を取得し、JICA(国際協力機構)の「イエメン共和国結核対策プロジェクト」のリーダー、松江市の病院勤務医として働いた後、1993 年、縁あって島田市にレシャード医院を開院した。

レシャード先生は、開院して間もなく、日本にも独居の高齢者で、経済的に豊かではなく医療や介護のサービスを受けられない「難民」がいることに気づいたといふ。

「地方には独居の“介護難民”がたくさんいます。現実は、世話をする家族がいるかどうかで全然違う。絶対的な人手が足りません。社会全体で介護を支える介護保険の役割は大きい。でも細かくメニューを決めて点数をつけたために、かえって使いづらい面もある。たとえば昔なら民生委員が独居の要介護者をしっかりと把握し、医療機関に状況を伝えていた。今は民生委員が遠くなつた。だけどね、もう医療だ、介護だ、福祉だ、とタテの枠組みでは対応できない。一緒にやらなくてはいけません」(前出の週刊金曜日の記事より)

ケアのタテ割りを突破するためにレシャード先生は、1999 年に老健施設のアポロンを創設した。

2001 年「9.11」同時多発テロ後、アメリカはタリバン政権下のアフガニスタンに空爆を行つた。タリバン政権が倒され、アフガニスタンは共和国に生まれ変わつたが、平和は遠い。「カレーズの会」は現地に「ヘルスポート」と呼ばれる医療拠点を 12 か所設けている。学校も建てた。レシャード先生は、日本人に「ともに生きる」道に気づいてほしいと語つてゐる。

「アフガニスタンは、侵略者に対して防戦してきました。文化や宗教、習慣を大切にし、あたりまえの生活を維持したい。無欲の戦いです。だから強い軍隊がきても負けない。日本の政治家は保守、革新問わず、長いモノに巻かれて我慢しろと言う。たかがここ 60 年の政治的発想で言う。しかしアジア的視点で考えてほしい。仏教はインドで生まれ、アフガニスタンで育ち、中国を経て日本にきた。この流れを理解すれば、自ずと『ともに生きる』道が見えてくるはずです」(週刊金曜日 2012 年 6 月 26 日号、山岡淳一郎「脱混迷ニッポン」)

## 第44回新英語教育研究会「東海ブロック研究集会」のご案内

初冬の候、皆様におかれましては、英語教育の実践と研究にご専念のことと存じます。日ごろは新英語教育研究会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、毎年恒例の東海ブロック研究集会が今回は、静岡県で開催されます。その案内をお送ります。現場では英語で授業を行うことに対して教師それぞれ、または学校ごとに温度差があります。今、現場は迷走状態だと思われます。英語を通じ、教育とはどのようなものか、私達は何ができるのか、何をすべきか等をもう一度考え確認するためにもこの研究集会で実践を発表していただき、皆様と意見を交換したいと思います。ぜひ、皆様の周りの人をお誘い合わせの上、ご参加いただけることを願っています。

- ☆ 日時：2015年1月11日（日）13：30～12日（月）祝 12：00
- ☆ 場所：かんぽの宿 焼津  
静岡県焼津市浜當目1375-2 TEL 054-627-0661
- ☆ 会費：参加費 2,000円（1日のみの参加は1,000円、講演会のみは500円）  
宿泊費 11,600円（1泊2食）（J A F会員は一泊500円割引）  
夕食会のみ 5,700円（飲み物代別）
- ☆ 講演「アフガニスタンの現状と国際平和—今、私たちにできること」（別紙ご覧ください）  
レシャード・カレッド氏 特定非営利活動法人カレーズの会 理事長
- ☆ 日程 1月11日（日）
  - 受付 13：00～13：25
  - 開会あいさつ 13：30～13：40
  - 講演 13：45～15：00（質疑応答含む）
  - 報告 ① 15：10～15：50  
自己表現活動～英語俳句やDebateに取り組んで～ 太田 寛（三重・高）
  - ② 15：50～16：30  
特別支援学級と普通学級での授業報告 小林 国芳（愛知・中学）
  - ③ 16：40～18：00  
オズの国の生徒たち～定時制での英語劇の実践～ 絹村 俊明（静岡・高校）
  - 連絡 18：00～18：05
  - 夕食会 18：30～20：00
- ☆ 1月12日（月） チェックアウト（各自）～ 8：55
  - 報告 ④ 9：00～9：40  
「沖縄修学旅行」のおみやげは英作文で決まり！浦田 恒子（三重・高校）
  - ⑤ 9：40～10：20  
「コミュ英語Ⅱでグループ・プレゼンの実践」弘山 貞夫（愛知・高校）
  - ⑥ 10：30～10：50  
「ケニアに住んで世界を見る」 長田 寿和子（三重）
  - ⑦ 10：50～11：10（静岡）  
「アメリカ人ジャーナリストによる第五福竜丸事件取材の報告」柏谷たか子  
「クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ訪問～幸せの多様性」枝村泰代
- ☆ 参加申し込み先 池田 ゆかり 電話：090-8498-3472 メール：ogo-bu@mub.biglobe.ne.jp  
宿泊を希望される方はまだ間に合いますので12月22日（月）までにご連絡ください。